

【有明地区で優先的に取組むべき「対策の方向性」の順位と投票数】

投票数	対策の方向性
18	後継者が育つ
10	みんなが集える ・働き盛り世代が地域活動に参加できる ・みんなが顔見知り
7	ビジターセンターを観光客との交流の場に
7	子どもたちが帰って来なくなる
6	老人会の活性化 ・サロンに高齢者がたくさん参加する
6	ゴミのポイ捨てがない
5	子どもが安全に通学できる
5	買物が不便でない
4	転入してきた人を受け入れる寛容性
3	交通の便が良い
3	空き家・空き地がない
3	安心・安全なまち
1	知らない人にも挨拶できる
1	公園や街路樹等がきれいに整備されている



有明地区 第三回ワークショップレポート

第三回のワークショップでは、第二回のワークショップで話し合った地区の目指す姿を実現するための取組みについて、市長を交えて、検討を深めました。

前半では、地域の課題や魅力などについて市長に発表した後、市長から、課題解決に向けた最近の市の取組みなどについて説明し、お互いの理解を深めました。

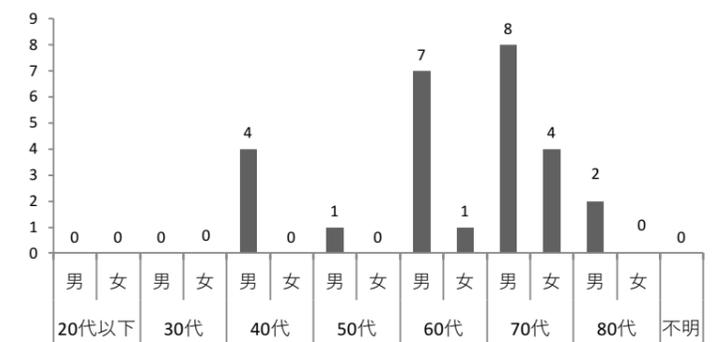
後半では、これまでまとめてきた「対策の方向性」について、先に実施すべきと思うものを参加者で投票（1人3票）し、優先的に取り組むべきことを明らかにしました。

日時：11月2日（土）19時～

場所：有明小学校（体育館）

参加者数：27名

【有明地区の参加状況】



(地区全体の方針) **みんなが「集う」、「住みたくなる」まち**

■有明地区で取組みたい
「対策の方向性」について、
追加する具体的な取り組みの例

★は追加された意見

暮らしやすいまち

子どもが安全に通学できる
スクールゾーンをわかりやすくする
小学生の送り迎え
通学路に歩道・道路拡幅
★外灯の電気代の補助

交通の便が良い

公共交通の充実
赤信号の時間を短く
★ビジターセンター近くの道が危険
★市屋ガードの信号の間合い改善
★バスの本数を増やす

買物が不便でない

ありあけの里の商品を増やす(魚・肉)
買い物支援活動の全地域への展開
★移動販売車の導入

地域交流が盛んなまち

みんなが集える ・働き盛り世代が 地域活動に参加できる ・みんなが顔見知り
子ども会、壮年部、老人会が それぞれにイベントをする
若手を集めて酒飲み会をする
祭りやイベントの情報を流し 参加を呼び掛ける
盆踊り、ふれあい祭り、 どんどやなどの実施
★子供たちの流出を食い止める
★子ども会の活性化
★岱志高校の名前に荒尾を入れる

**老人会の活性化
・サロンに高齢者が
たくさん参加する**

花見、グランドゴルフをする
高齢者への行事参加の呼びかけ
老人会への勧誘、説得

**ビジターセンターを
観光客との交流の場に**

ビジターセンターで多くのイベントを開く
日没の時刻を掲示する
★干潟を市民全体で発信
★マジックをアピール
★タコ堀、マジック釣りを通した世代間交流
★海沿いにベンチ
★センター前に掲示板の設置
★ビジターセンターで 何が見られるかアピール

知らない人にも挨拶できる

「あいさつ通り」の看板を整備
挨拶運動

後継者がいるまち

子どもたちが帰って来なくなる
「自慢」の広報活動
★有明地区でのイベントの増加
★飲食店の開業(誘致)
★岱志高校の科目を増やし魅力向上
★企業、大学誘致
★短大があればよい

後継者が育つ

見習い期間を設けて育てる
寺子屋の充実

転入してきた人を受け入れる寛容性

★空き地を整備して転入者を

環境が良いまち

ゴミのポイ捨てがない
定期的な美化作業
各自が自宅の周りの道路を掃除する
空き缶、ゴミ拾い
リサイクルの手伝い
★監視カメラの設置
★捨てる人の意識を変える

**公園や街路樹等が
きれいに整備されている**

草刈りをする
定期的な美化作業
有明公園は草刈り機を購入して除草
海の美術館の継続

空き家・空き地がない

空き家の管理
空き家の見守り
★空き家の清掃をボランティアとする

安心・安全なまち

児童の見守り
高齢者、独居の方の見守り(訪問)
ボランティアを気軽に 使ってもらえる土壌づくり
★有明高校のボランティアをしている
★実態にあった避難所の設置
★自主防災組織の確率
★防災訓練とハザードマップ見直し
★各地区に 「描レンジャー」(ボランティア)と「任せんかい」